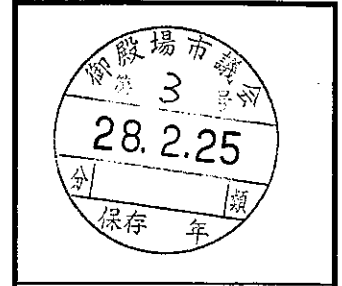


発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。

平成28年 2月25日



御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 19番 高木 理文

14時40分

発言の種別

- ① 一般質問(一括質問一括答弁方式 一問一答方式) × 選択制
2. 代表質問 3. 緊急質問 4. 質疑 5. 討論

質問事項1 子どもの医療費無料化について

具体的内容 当市は、「真の子育て支援日本一のまち」を目指し、子育て支援策の充実に取り組んでいる。「子どもの医療費助成制度」では、高校3年生相当年齢までを対象にしており、県内でも先駆的な取り組みとして評価できる。今、国内では、17歳以下の6人に1人が貧困状態にあるといわれており、誰でも安心して医療を受けられる制度の充実が、子育て支援を大きく後押しするものである。

質問

- 1 市内の高校3年生相当年齢までの医療機関への受診状況について伺う。
- 2 地方創生先行型交付金の活用について伺う。
- 3 国民健康保険税の減額調整の現況について伺う。
- 4 子どもの医療費窓口負担完全無料化についての見解を伺う。

質問事項2 国民健康保険税の負担軽減と18歳未満の子どもの均等割廃止について

具体的内容 子どもの医療費助成制度を高校3年生相当年齢まで拡大していても、現行の国民健康保険制度においては、被保険者数に応じて定額を賦課する「均等割」によって、子どもが多い世帯ほど国民健康保険税の負担が重くなり、子育て支援に逆行している。そもそも、所得の1割を占める国民健康保険税の負担率は、自治体の責任で軽減すべきである。

質問

- 1 18歳未満の子どもの均等割廃止について伺う。
- 2 国の保険者支援制度の活用について伺う。
- 3 市長政策分の法定外繰入金の増額について伺う。